

結 び の 神 通 信

令和3年12月

新米の販売が本格化している中、県産ブランド米「結びの神」においても、販売促進や知名度向上に向け、さまざまな機会の活用によるPRや新規の販路確保等による取組を進めているところです。

今回も、「結びの神」に関する様々な情報をお伝えしていきます。

■「クイズで学ぶ三重の米とブランド米 結びの神」を開催

みえの米ブランド化推進会議は、11月3日（祝・水）イオンモール津南において、食育イベント「クイズで学ぶ三重の米とブランド米 結びの神」を開催しました。イベント前半では、小学生以下を対象に、食育冊子「三重の田んぼとお米」を用いて、田んぼの役割や三重の米づくり、県産ブランド米「結びの神」のことを楽しみながら学習しました。また、後半では、三重の米に関するクイズ大会を開催し、参加した子供たちからはクイズの正解が発表されるたびに拍手が起こっていました。このほか、店内の大型スクリーンでは、結びの神を使用した料理動画を放映し、「結びの神」のPRを行いました。さらに、イベント参加者には、手軽に県産ブランド米が楽しめるパックご飯の「結びの神」をプレゼントしました。JA全農みえ米穀課の担当者は、「今回のイベントをきっかけに少しでも三重県のお米に興味をもってもらい、みなさんに親しみをもって県産米を食べていただきたい。」と語っていました。



■レンジで手軽にパックごはん「結びの神」を新発売

「結びの神」を手軽に味わってもらおうと、JA全農みえでは、「パックごはん」として商品化し、10月から県内のJAやスーパー、インターネットショップ（JAタウン）で販売を開始しました。米の消費量が年々減少する一方、パックごはんは、コロナ禍の楽ごもり需要などで増加していることに着目し、三重県産米の消費拡大をめざして、本商品を開発しました。このパックごはんは、「結びの神」を食味評価の高いガス直火炊き製法で炊飯し、ふっくらつややかなごはんに仕上げています。茶碗1杯分より少し多めの200グラムで、賞味期限は8か月と保存が効き、電子レンジ以外に熱湯で温めても食べられるため、災害用の備蓄としても適しています。



■合格祈願「結びの神」が今年も登場

受験生のみなさんを食で応援しようと、今年も受験シーズン限定で合格祈願パッケージの「結びの神」が登場しました。米袋は「お守り」がモチーフで、「結び」にちなみ、津市の結城神社で祈禱を受けた米袋に、お米を詰めています。冷めても甘みがあっておいしく、お弁当にぴったり。かむことで脳が活性化され、腹もちもよいので、夜食のおにぎりにもおすすめです。県内のJAやスーパー、パールライス取扱米穀店、インターネットショップ（JAタウン）で販売されています。



■「VISON」にお米の専門店「豊農米蔵」がオープン

多気町にある商業リゾート施設「VISON（ヴィソン）」内に、米をテーマとした専門店「豊農米蔵 produced by AKOMEYA TOKYO」がオープンしました。ごはんのおいしさを楽しめる飲食を提供するほか、伊勢神宮に奉納した「結びの神」をはじめ、ごはんのお供や伊勢茶等、人気の商品をそろえています。JA全農では、同店舗を通じ「日本のお米」や「米食文化」の素晴らしさと、JAグループがすすめる「よい食プロジェクト」の考え方を消費者のみなさまに発信していきます。



■惣菜弁当や寿司にも「結びの神」 店頭POPでPR

県内食品スーパー、株式会社マルヤスの店舗で販売される総菜用のごはんに、県産ブランド米「結びの神」を供給し、消費拡大とPRに取り組んでいます。冷めてもべたつきが少なく、食味のよい「結びの神」の特徴を生かし、弁当や寿司などのごはんとして消費者に提供したいとの思いから同社に提案したことから取組が始まりました。使用する「結びの神」は、全農三重県本部パールライスセンターで精米し、同社の炊飯加工施設から各店舗に供給されています。店舗担当者からは、冷めても甘みがあっておいしく、総菜にも向いていると、評価は上々です。店舗の総菜コーナーに「結びの神」の特色やこだわり、使用の旨を紹介するPOPを掲示し、来店客へのアピールを強化しています。



■土佐料理と「結びの神」のコラボ

土佐料理を全国展開する「龍神丸」のイオンモール津南店と県立明野高校がコラボし、明野高が生産する「結びの神」をはじめ各種食材を使った定食メニューが販売されました。令和3年10月23日～11月7日の販売期間中、ご飯を一釜ずつ炊きあげる定食には全て「結びの神」が使用され、来店したお客様に非常に美味しいと好評でした。土佐と三重を「結びの神」で結び、たくさんのお客様に知ってもらおう機会となりました。



■令和3年産三重23号の作況試験概要（県農業研究所）

移植時期である4月下旬は天候に恵まれ、活着は良好でした。その後も生育は順調に経過しましたが、平年よりも早い梅雨入りによる降雨や日照不足からその後の生育は鈍化しました。しかし、その後、7月中旬の出穂期以降は天候が回復したことから、稈長、穂長、穂数はほぼ平年並みとなりました。また1穂粒数はやや低下したものの、登熟が良好だったことから、収量はほぼ平年並みとなりました。また、玄米の外観品質もほぼ平年並みとなりました。

■令和4年産生産者募集について・作付けの拡大をお願いします

令和3年11月15日（月）から12月17日（金）を期間として、令和4年産の生産者募集を行っております。知名度やブランド力の向上に向け、さまざまな機会をとらえPRを行うとともに、新規の販路開拓の取組を進めているところです。「結びの神」の需要は増えてきていますので、生産者の皆様におかれましては、いっそうの生産拡大に向け、御自身の面積拡大だけでなく、周りの方々へのお声掛けを行っていただくなど、積極的な御協力をお願いいたします。